

甲賀市指定有形文化財を新たに指定

市教育委員会は、平成27年2月18日付けで、4件の文化遺産を新たに甲賀市指定有形文化財に指定をしました。

これからもまちの歴史を物語るうえで貴重な遺産として保護し、歴史文化を活かしたまちづくりへの活用を図ります。

今回の指定により甲賀市指定文化財の総数は143件となりました。

木造十一面観音立像 (土山町平子・佛性寺蔵)

引き締まった目鼻立ちに、抑揚のある衣の彫り方、像の大半を丸彫りした一木造りの技法に平安時代中期の特徴がよく表われています。野洲川上流域では屈指の古像です。



木造十一面観音立像▶



木造地藏菩薩立像 (信楽町中野・来迎寺蔵)

浅く彫られた衣、穏やかな表情、端正な造りに平安時代末期の特徴が表れた、等身大の地藏菩薩像です。信楽地域の仏像のあり様を知る上で大切なお像です。

◀木造地藏菩薩立像

水口藩大庄屋山村家諸事書留 (甲賀市蔵)

水口藩の大庄屋を勤めた山村家三代の日記で、山村日記とも呼ばれています。文化元年(1804)から72年間にわたり記された61冊が残り、水口地域の政治、経済、文化を知る貴重な史料です。



水口藩大庄屋山村家諸事書留▶

史跡紫香楽宮跡(宮町地区)歌木簡と歌墨書土器(甲賀市蔵)

紫香楽宮跡から出土した遺物で、いずれも和歌についての内容が記されています。特に歌木簡の両面には「難波津」と「安積山」の歌が書かれ、万葉集成立の過程を知る重要な資料です。



史跡紫香楽宮跡歌木簡と歌墨書土器▶

歴史文化財課
☎86-8026 / ☎86-8216



▲忍者衣装で執務を行う市職員。海外を含め多くのメディアで紹介されました。



▲甲賀市くすり学習館で行われた忍者の携帯食「兵糧丸」作り体験。忍者になりきり参加した大阪のグループなど約30人が楽しみました。



▲「忍者音頭」で川原さんを歓迎する水口西保育園の園児



▲忍者に扮した三重、滋賀両県両市の4首長と応援に駆け付けたテレビキャラクター、ちびっこ忍者たち

制定を記念し、「忍者の日」の2月22日、三重、滋賀県の両知事と伊賀、甲賀市の両市長によるセレモニーが甲賀の里忍術村で開かれました。イベントの中では、4首長による手裏剣対決も行われ、滋賀県勢が勝利を収めました。

中嶋市長は「これからも忍者を通じて両市、両県の交流を深め、国内だけでなく海外の方にも親しまれるようにPRしていきたい」と意気込みを話しました。

甲賀の里忍術村で「忍者の日」制定記念セレモニー

制定を記念し、「忍者の日」の2月22日、三重、滋賀県の両知事と伊賀、甲賀市の両市長によるセレモニーが甲賀の里忍術村で開かれました。イベントの中では、4首長による手裏剣対決も行われ、滋賀県勢が勝利を収めました。

中嶋市長は「これからも忍者を通じて両市、両県の交流を深め、国内だけでなく海外の方にも親しまれるようにPRしていきたい」と意気込みを話しました。

甲賀の里忍術村で「忍者の日」制定記念セレモニー



▲手裏剣対決の勝利の証「陣羽織」は現在市民窓口センターに展示中 (3月中)

「忍者の日」を全国にPRしようと、忍者姿で東京から京都まで人力車を引いて歩く旅をしている川原辰也さんが2月20日、市役所や甲賀市ひと・まち街道交流館へ立ち寄り、ムードを盛り上げました。

「忍者の日」を全国にPRしようと、忍者姿で東京から京都まで人力車を引いて歩く旅をしている川原辰也さんが2月20日、市役所や甲賀市ひと・まち街道交流館へ立ち寄り、ムードを盛り上げました。

「忍力車」をお出迎え

皆さんの応援はもちろん、昔の忍者が見て、応援してくれているのではないかとと思うと、一歩一歩足が出ます。



「忍者の日」キャンペーンを実施

甲賀市観光協会と伊賀上野観光協会が幹事となり、2月22日を「忍者の日」として記念日に登録。2月2日から22日までの「忍者月間」には全国で様々なキャンペーンが展開され、忍者の魅力を国内外に発信しました。市内では、甲賀市くすり学習館や甲賀流忍術屋敷をはじめ27施設で、それぞれ趣向を凝らした企画を実施。市役所でも観光企画推進室の職員が忍者衣装で執務するなどPRを行いました。

国内国外発信

2月22日

2015.2.22

